

Nyu map

【下丹生城(古城跡)】

下丹生城跡は、「大和志」に記載される「下丹生村」の「壘址」に相当するため、「奈良市史」では「下丹生城」として扱っています。在地土豪で興福寺の国民に列した丹生氏の居城であったとみられます。丹生将監の嫡男平蔵には柳生宗厳の六女が嫁ぎ、丹生平蔵は肥前唐津城主寺沢広高に仕えたといわれています。遺構は、郭、堀切、土塁などが残っています。

【丹生神社】

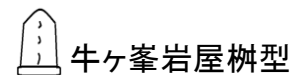
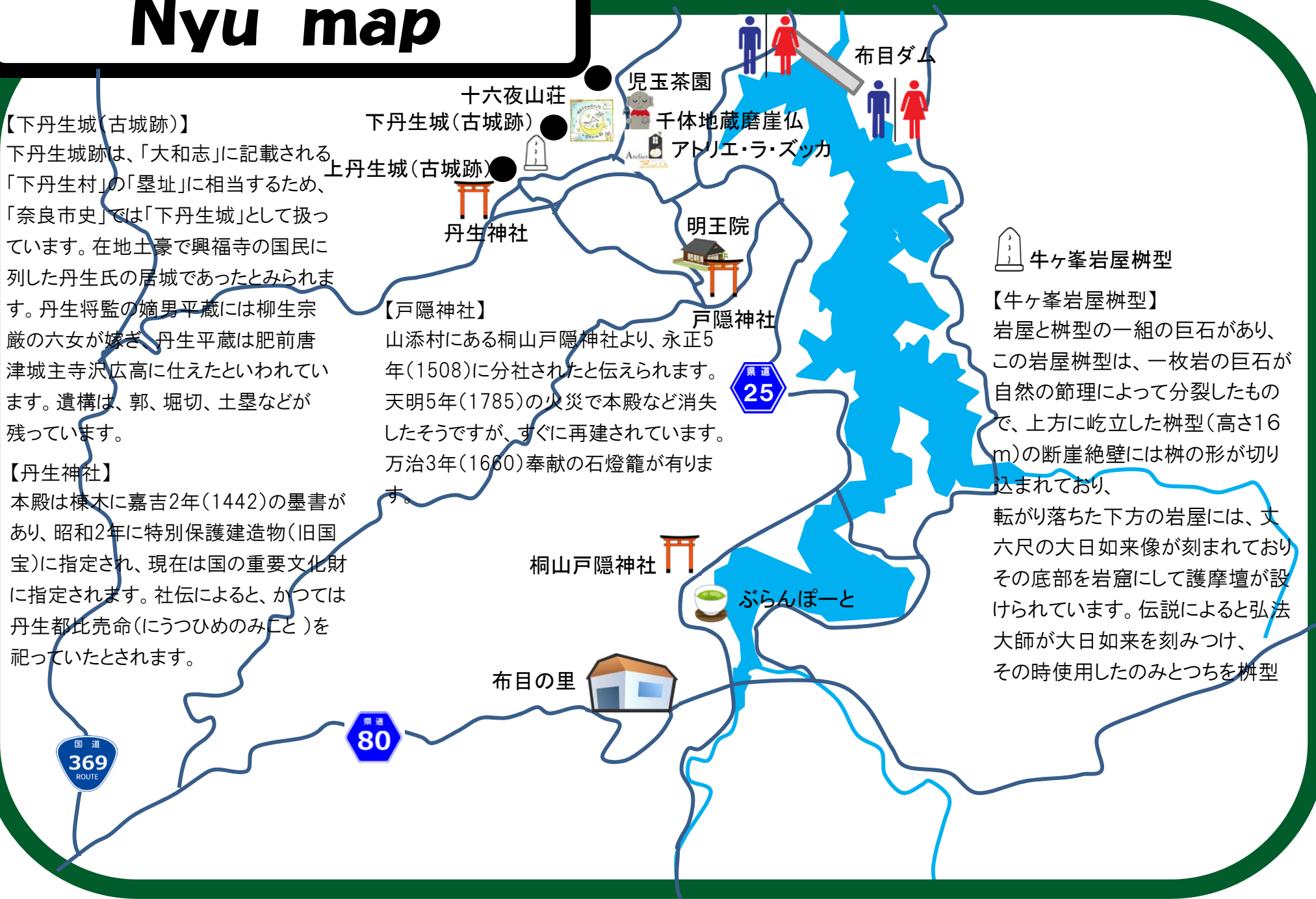
本殿は棟木に嘉吉2年(1442)の墨書があり、昭和2年に特別保護建造物(旧国宝)に指定され、現在は国の重要文化財に指定されます。社伝によると、かつては丹生都比売命(にうつひめのみこと)を祀っていたとされます。

【戸隠神社】

山添村にある桐山戸隠神社より、永正5年(1508)に分社されたと伝えられます。天明5年(1785)の火災で本殿など消失したそうですが、すぐに再建されています。万治3年(1660)奉献の石燈籠が有ります。

桐山戸隠神社

布目の里



【牛ヶ峯岩屋柵型】

岩屋と柵型の一組の巨石があり、この岩屋柵型は、一枚岩の巨石が自然の節理によって分裂したもので、上方に屹立した柵型(高さ16m)の断崖絶壁には柵の形が切り込まれており、転がり落ちた下方の岩屋には、丈六尺の大日如来像が刻まれており、その底部を岩窟にして護摩壇が設けられています。伝説によると弘法大師が大日如来を刻みつけ、その時使用したのみとつちを柵型